

2023 年度 応用地形判読士資格検定試験（通算第 11 回）

〔学科試験問題〕

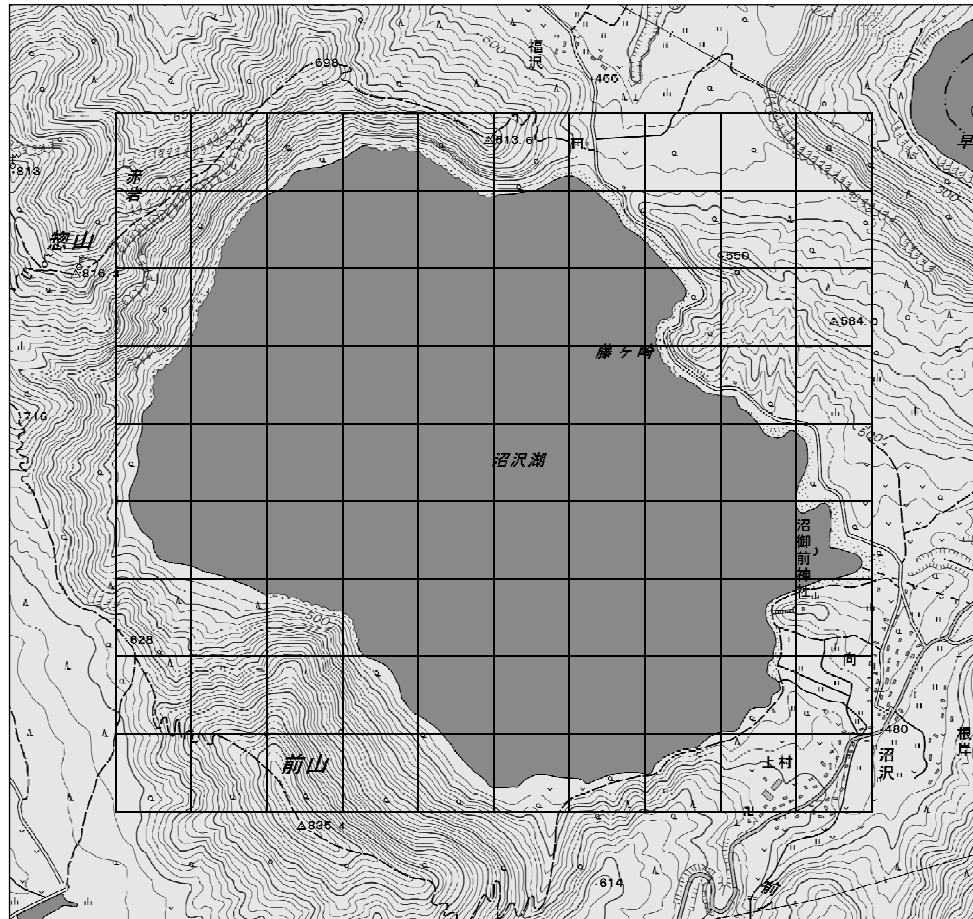
学科試験の注意事項

- (1) 学科試験の実施時間は、9 時 30 分から 11 時 00 分までの 1 時間 30 分とする。
- (2) 試験開始後 1 時間は、退場を認めない。
- (3) 机上には、筆記用具など（鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、定規、三角スケール、鉛筆削り、拡大鏡）、受験票、試験問題用紙、答案用紙、時計以外のものは置かないこと。
- (4) 通信機器類および電子機器類（ウェアラブル端末（例えばスマートウォッチ）などを含む）の使用は一切禁じる。また、携帯電話など音を発生させる機器類は、必ず電源を切ること。
- (5) 試験の開始にあたり、試験問題の欠落や印刷に不鮮明な箇所がないことを確認すること。
- (6) 答案用紙には、受験番号と氏名および解答のみを記入すること。受験番号が未記入であったり間違えている答案は、採点からすべて除外し、不合格とする。
- (7) 学科試験・1 と学科試験・2 の解答は、凡例にしたがい、マークからはみださないよう丁寧に塗りつぶすこと。訂正する際は、きれいに消すこと。
塗りつぶしが不適切であったりきれいに消されていないなどのときは、採点されない場合がある。
- (8) 学科試験・3 の解答は、枠線からはみださないように、楷書で読みやすく記入すること。
- (9) 試験問題には、国土地理院発行の地形図などを使用している。地形図などは、注記がある場合を除いて、上を北としている。
- (10) この注意事項の説明後は、原則として質問に応じない。
- (11) 試験終了後、この問題用紙は持ち帰ってもよい。ただし、答案用紙は机の上に残すこと。

◆ **新型コロナウイルスによる感染が疑われる症状（発熱、咳、倦怠感など）があるときは、直ちに監督員に申し出ること。状況に応じ、一旦退席、または試験の辞退をお願いすることがある。**

《学科試験-1》

問 1. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、下の地形図に示す沼沢湖の面積として最も適切なものを選びなさい。ただし、図に併記した方眼は 250m 間隔である。



- (1) 2.9km²
- (2) 3.1km²
- (3) 3.3km²
- (4) 3.5km²

問 2. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、**成因が異なる湖の組み合わせ**として最も適切なものを選びなさい。

選択肢	湖沼名の組み合わせ
(1)	屈斜路湖 と 十和田湖
(2)	芦ノ湖 と 摩周湖
(3)	サロマ湖 と 宍道湖
(4)	琵琶湖 と 諏訪湖

問 3. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、**次の記述に該当する都市名**として最も適切なものを選びなさい。

その都市は、新第三系火山岩類からなる山地の麓にあり、中心市街は断層活動により一部が変形した扇状地上に位置する。

- (1) 宮崎市
- (2) 福井市
- (3) 長野市
- (4) 盛岡市

問 4. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、**活動が活発な地すべり地形の特徴**として最も適切でないものを選びなさい。

- (1) 地すべり斜面は、一般に水系の発達がよい。
- (2) 地すべり斜面内に、凹地や池があることがある。
- (3) 地すべり斜面の上端部には、一般に急崖が存在する。
- (4) 地すべり斜面の末端部に河川が接する場合、河川が対岸側に偏流することがある。

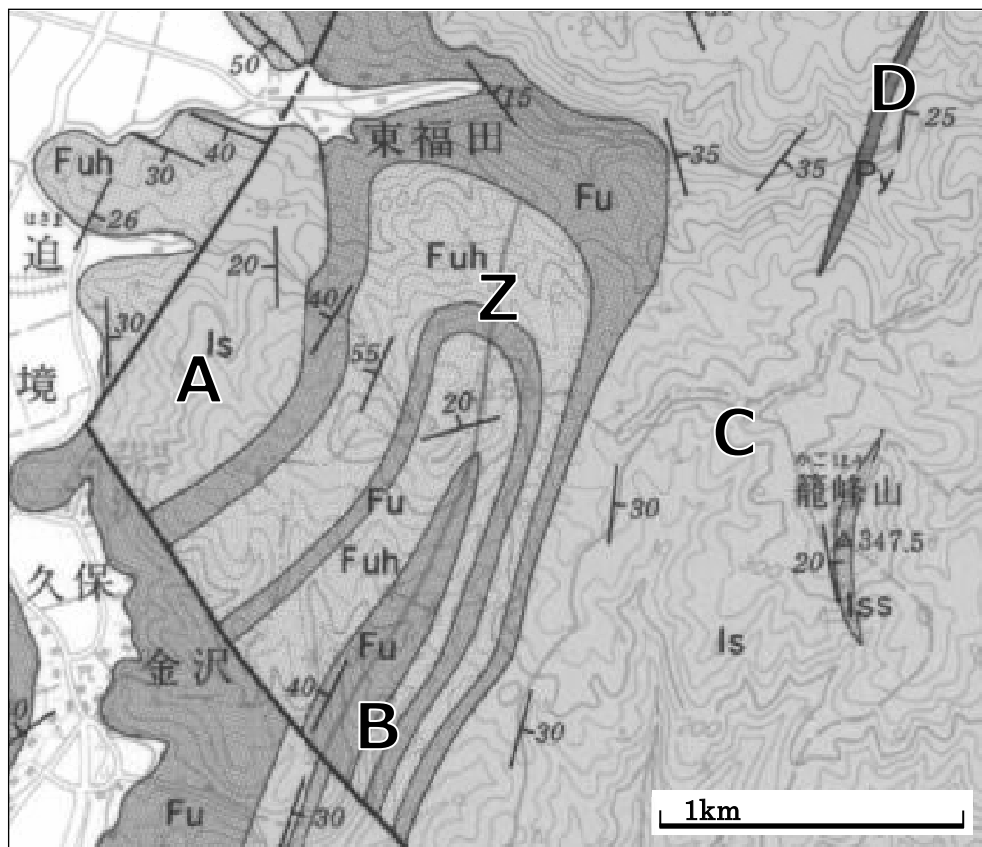
問 5. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、**わが国の第四紀降下火山灰層と地形の関係**として最も適切でない**記述**を選びなさい。

- (1) 火山灰は、給源火山を中心にほぼ同心円状に堆積していることが多い。
- (2) 給源火山周辺に段丘地形が分布する場合、高い段丘面ほど噴出時期の古い降下火山灰が載っている。
- (3) 累重して堆積する火山灰層中には、火山起源以外の細粒物質が風に乗って運ばれて堆積していることがある。
- (4) 噴火で火山灰が山地斜面に堆積すると、土石流の発生する危険がある。

問 6. 選択肢 (1) ～ (4) は、“日本の百名山”を組み合わせたものである。この中から、構成する地質が異なる山名の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。

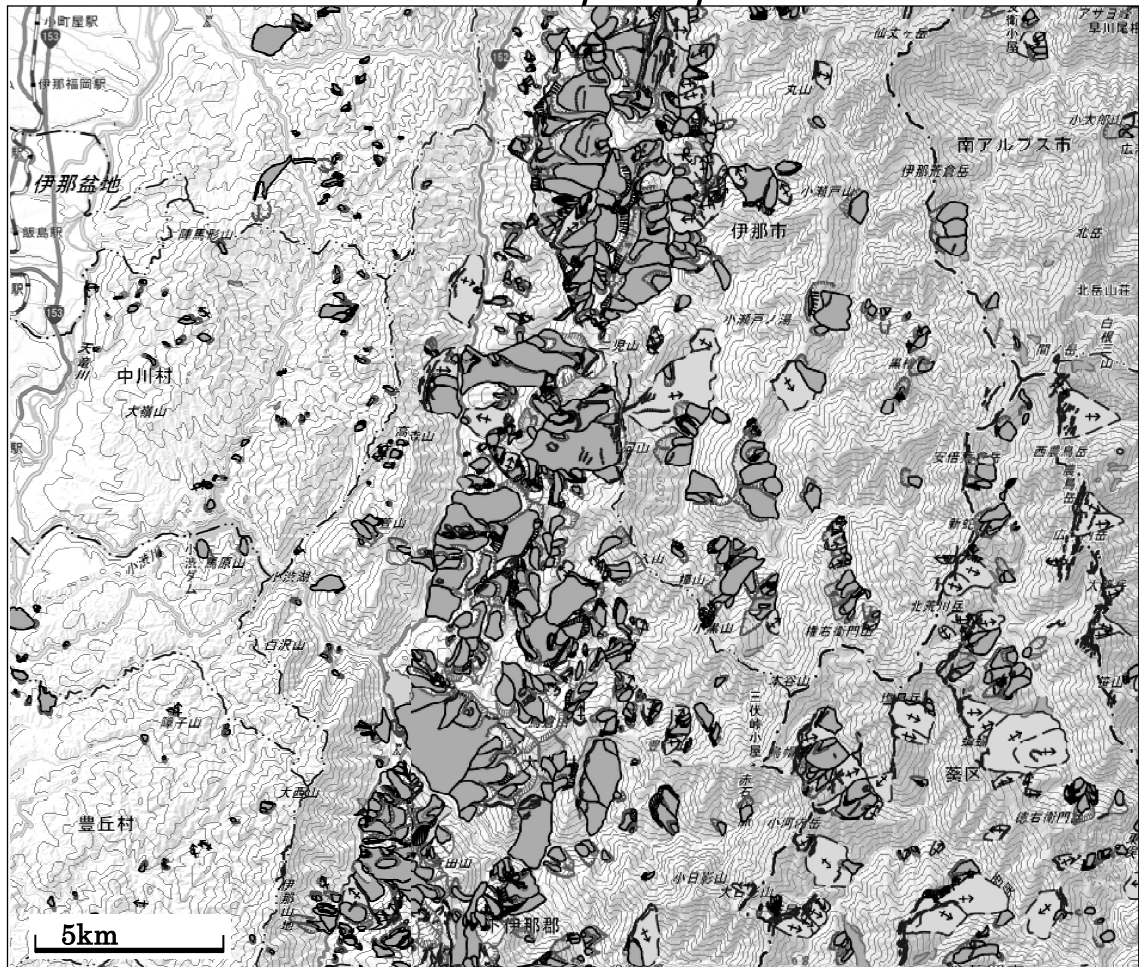
選択肢	山名の組み合わせ	
(1)	至仏山 (尾瀬ヶ原)	と 早池峰山 (北上山地)
(2)	甲斐駒ヶ岳 (南アルプス)	と 宮之浦岳 (屋久島)
(3)	木曽駒ヶ岳 (中央アルプス)	と 赤石岳 (南アルプス)
(4)	富士山	と 日光男体山

問 7. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、下に示す地質図の説明として最も適切でないものを選びなさい。



- (1) 地層 A (地質記号 Is) と地層 C (地質記号 Is) は、ほぼ同じ層準である。
- (2) Z の付近に背斜軸がある。
- (3) 地層 B (地質記号 Fu) は、地層 A, B, C の中で最上位の地層である。
- (4) 地層 D (地質記号 Py) は、層理面を切る貫入岩である。

問 8. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、下の地すべり地形分布図で地すべり地形が多く示されている地質帯 A の名称として最も適切なものを選びなさい。



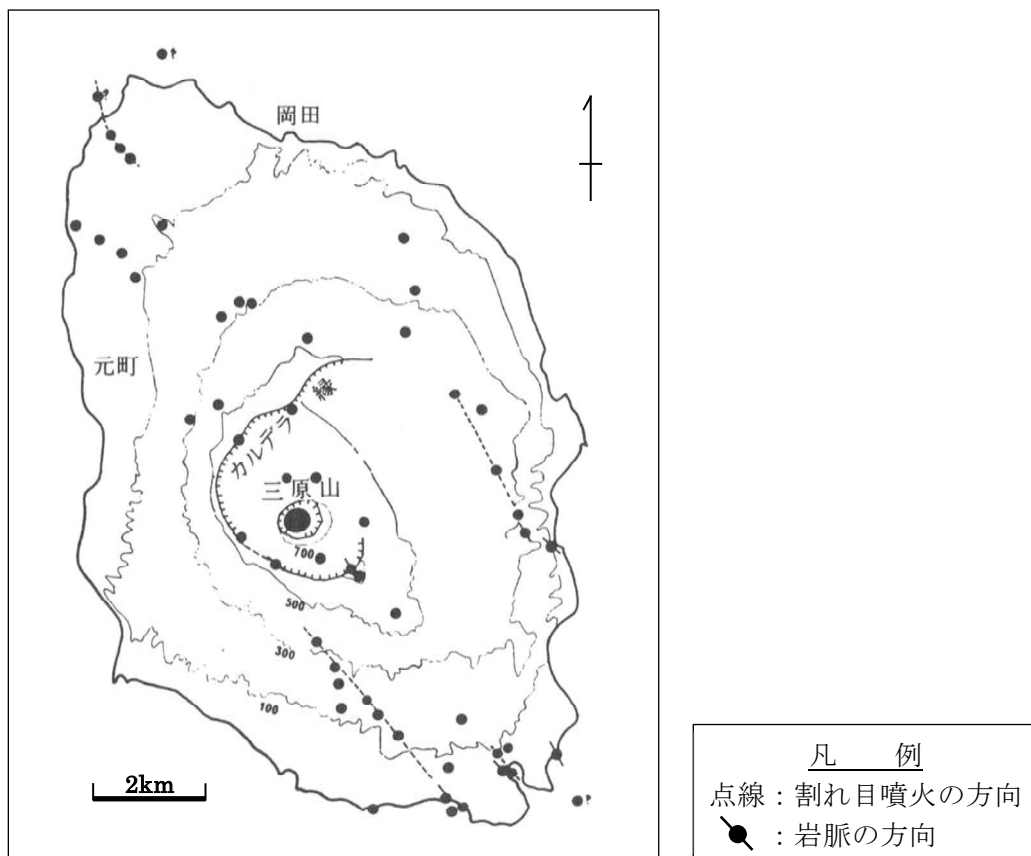
A

- (1) 領家帯
- (2) 三波川帯
- (3) 秩父帯
- (4) 四万十帯

問 9. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、主として水の作用により形成された地形を選びなさい。

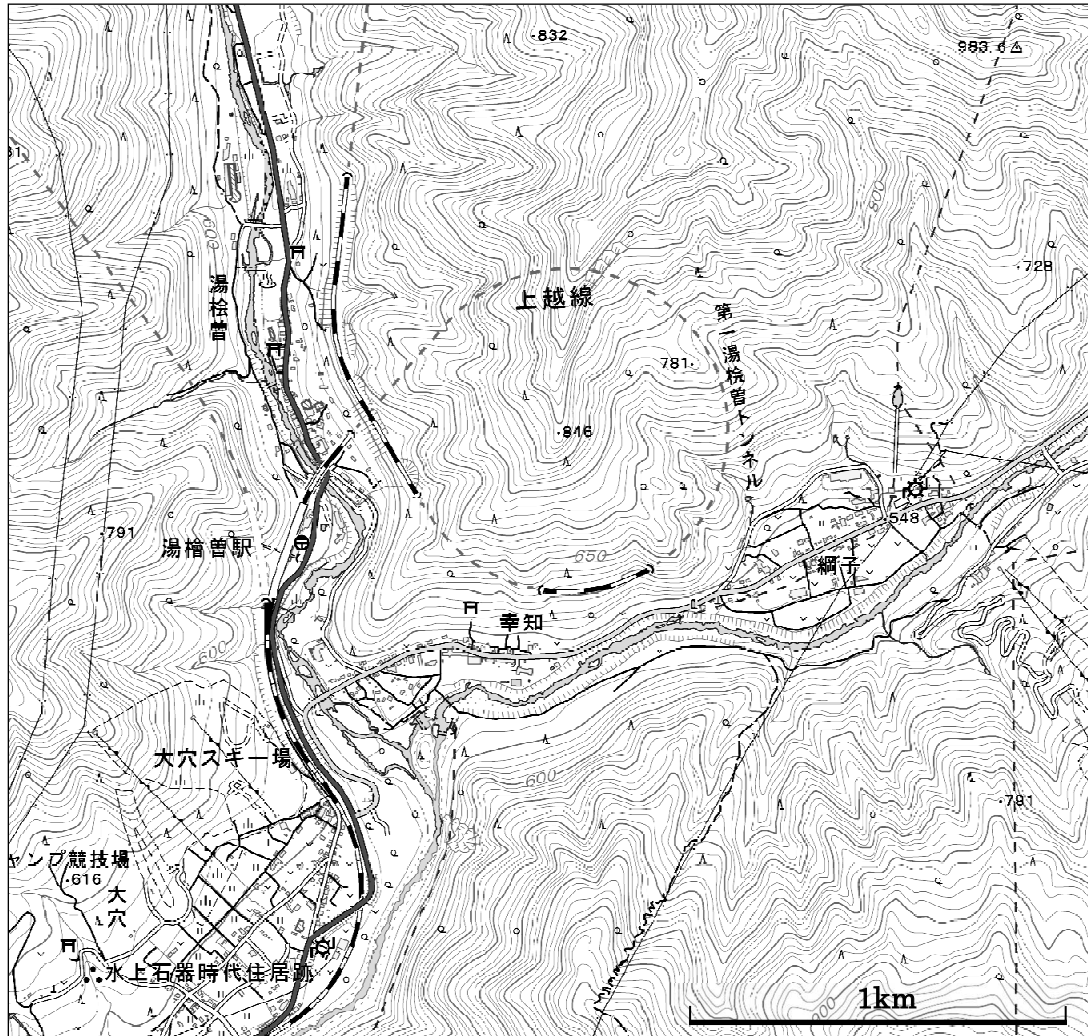
- (1) モレーン
- (2) 砂丘
- (3) 流れ山
- (4) 沖積錐

問 10. 下の図は、伊豆大島の三原山火口および側噴火地点を示している。選択肢 (1) ～ (4) の中から、伊豆大島火山周辺の地殻の最大圧縮軸方向として最も適切なものを選びなさい。



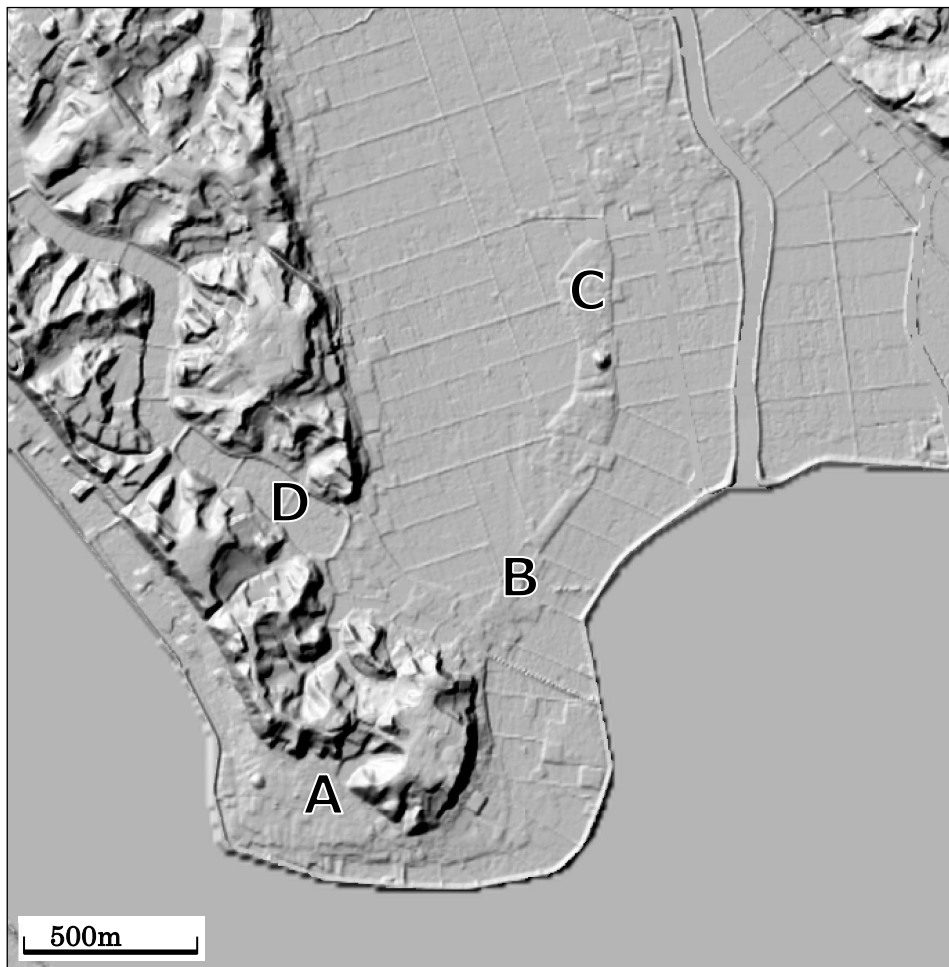
- (1) 南－北
- (2) 北北西－南南東
- (3) 東北東－西南西
- (4) 東－西

問 11. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、下の地形図に示した範囲の説明として最も適切でないものを選びなさい。



- (1) 鉄道のループ線の勾配は、地形図から算定できる。
- (2) 湯檜曽の地下駅から北北西に延びる鉄道トンネルの勾配は、地形図からは算定できない。
- (3) スキー場の最長リフトの高低差は 250m 以上である。
- (4) 落差約 100m の水路式の発電所がある。

問 12. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、下に示す地形図の説明として最も適切でないものを選びなさい。



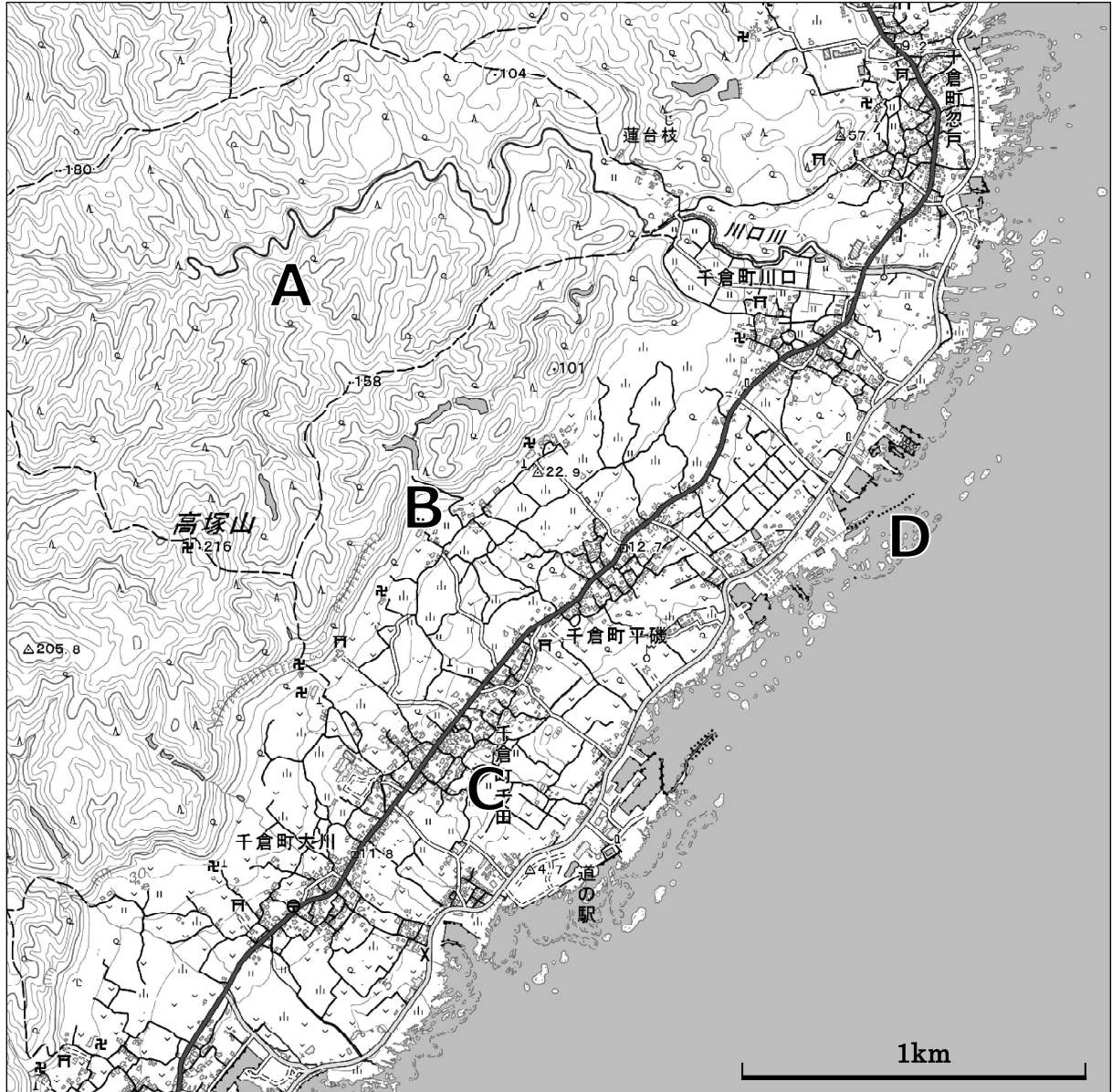
- (1) A は、低位の段丘である。
- (2) B は、自然堤防である。
- (3) C の表層は砂地盤であるが、その下位には軟弱な泥質地盤が厚く堆積している。
- (4) D は、過去には淡水域が存在していた。

問 13. 下の空中写真に示す山地斜面には、多数の筋状の裸地がみられる。選択肢（1）～（4）の中から、この地形の主な成因として最も適切なものを選びなさい。



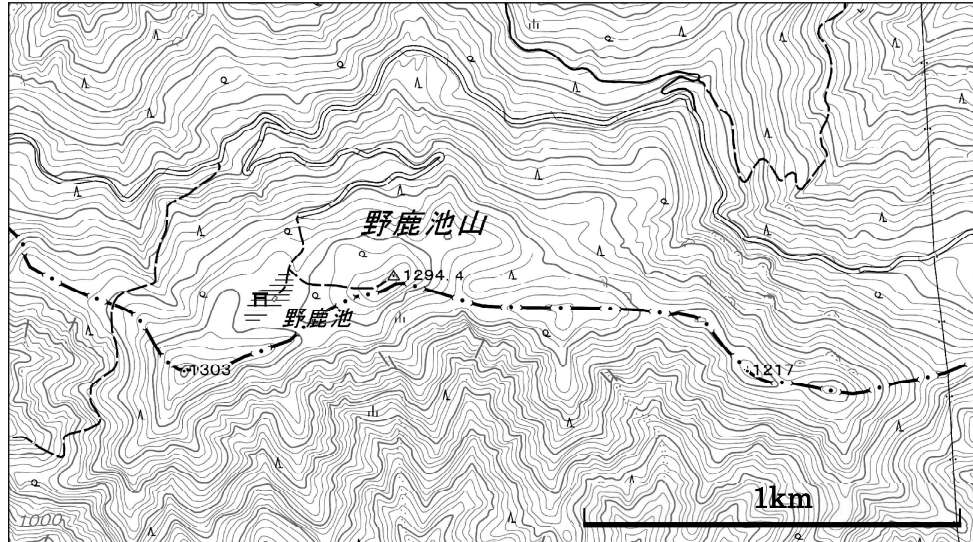
- （1）ガリー侵食
- （2）土石流
- （3）岩屑流
- （4）雪崩

問 14. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、下に示す地形図（房総半島の一部）の説明として最も適切なものを選びなさい。



- (1) 定高性があり細かい谷が非常に多く発達している丘陵地 A は、沈降傾向にある。
- (2) 丘陵地の東縁に比高 50～70m で北東－南西方向に連続する崖 B は、活断層地形と推定される。
- (3) 集落や水田がみられる平坦地 C は、海成段丘面と考えられる。
- (4) この地域が温暖なため、海岸 D の付近にはサンゴ礁が発達している。

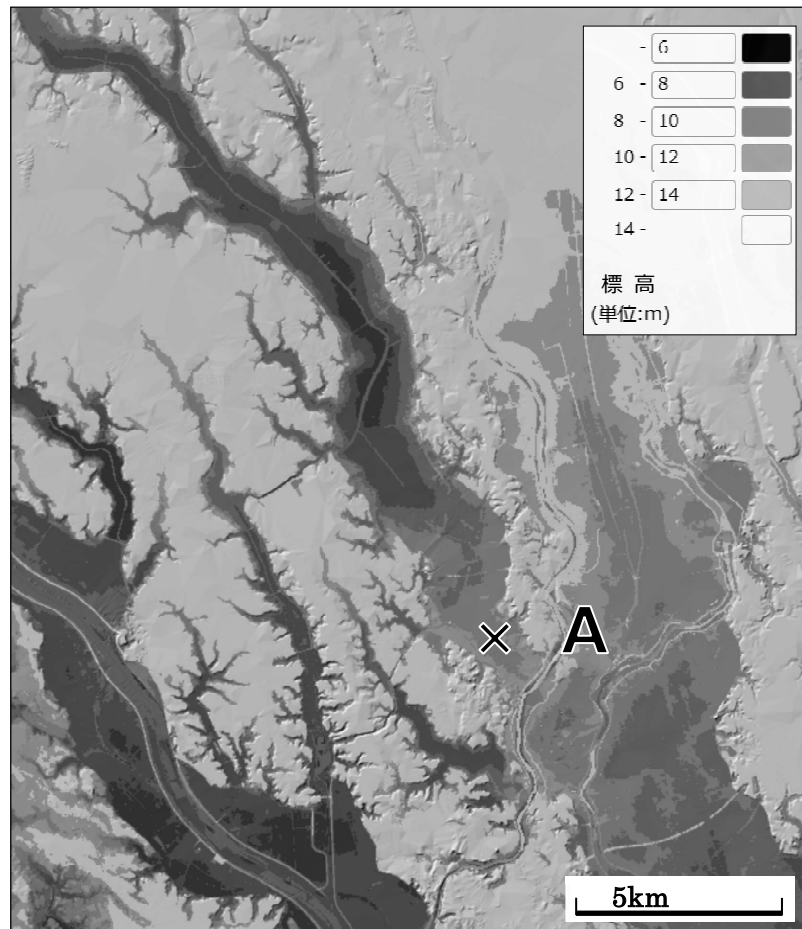
問 15. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、下の地形図にみられる「野鹿池」の成因として最も直接的に働いた作用を選びなさい。



- (1) 地殻変動
- (2) 浸食
- (3) 火山活動
- (4) 重力

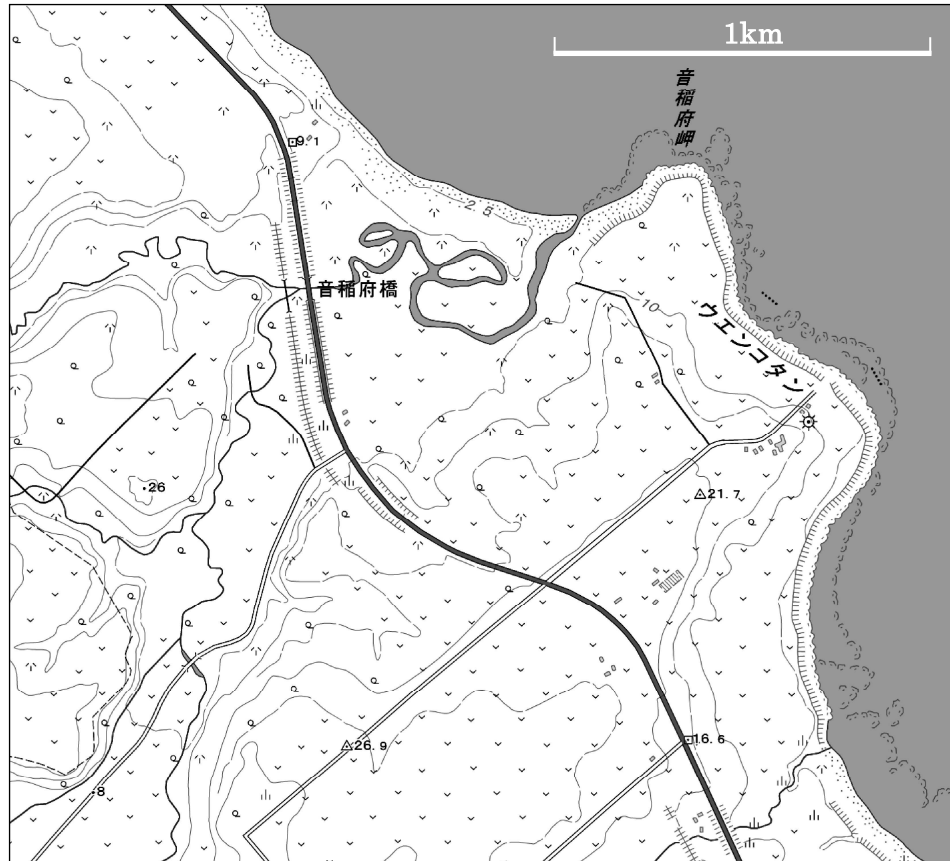
《学科試験-2》

問 16. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、下の段彩陰影図に示す地点 A (✕) の深度 3m 付近と深度 8m 付近に分布する土質の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。



選択肢	深度 3m	深度 8m
(1)	礫	砂
(2)	砂	礫
(3)	砂	シルト
(4)	シルト	砂

問 17. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、下に示す地形図から読み取ることができる地形の組み合わせとして最も適切でないものを一つ選びなさい。



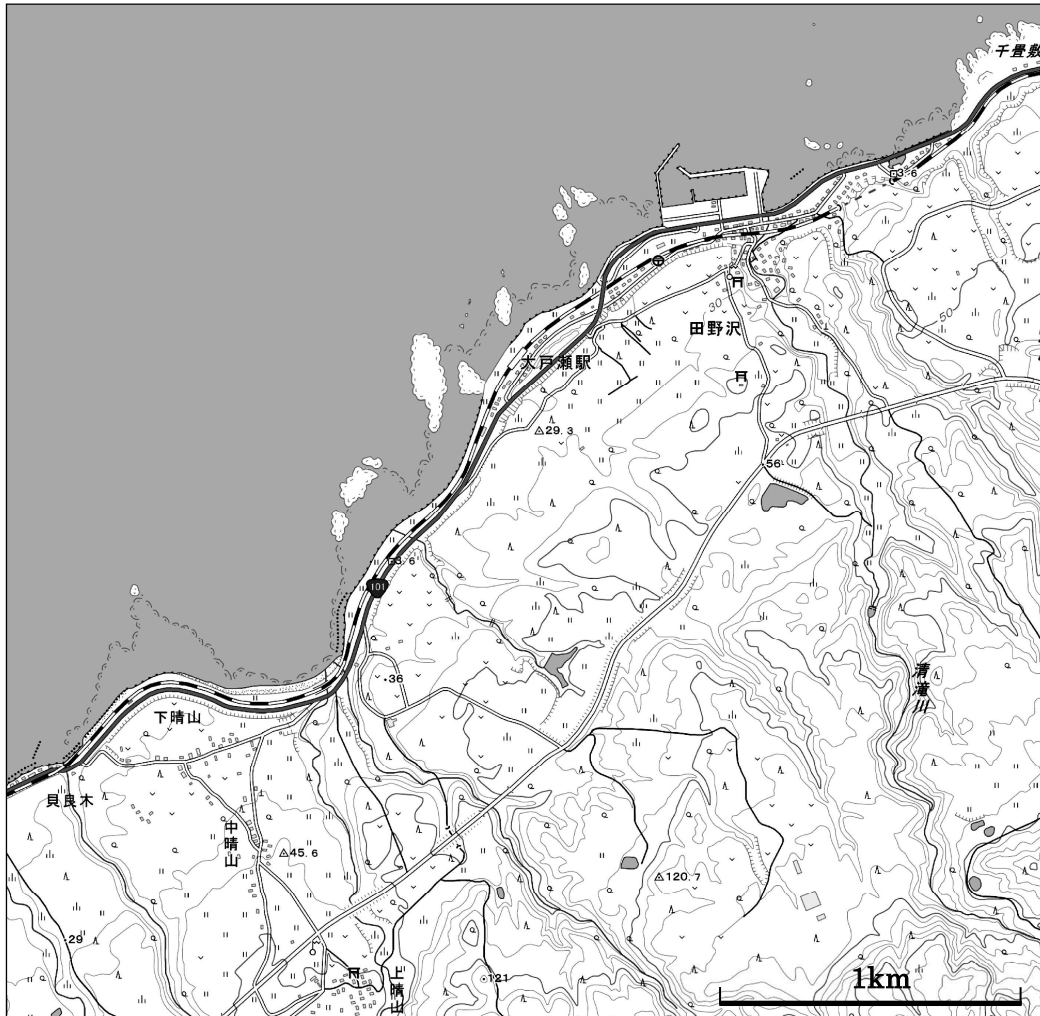
- (1) 海成段丘と段丘崖
- (2) 海食崖と波蝕棚
- (3) 自由蛇行と穿入蛇行
- (4) 砂州と後背低地

問 18. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、下に示す地形図の説明として最も適切でないものを選びなさい。



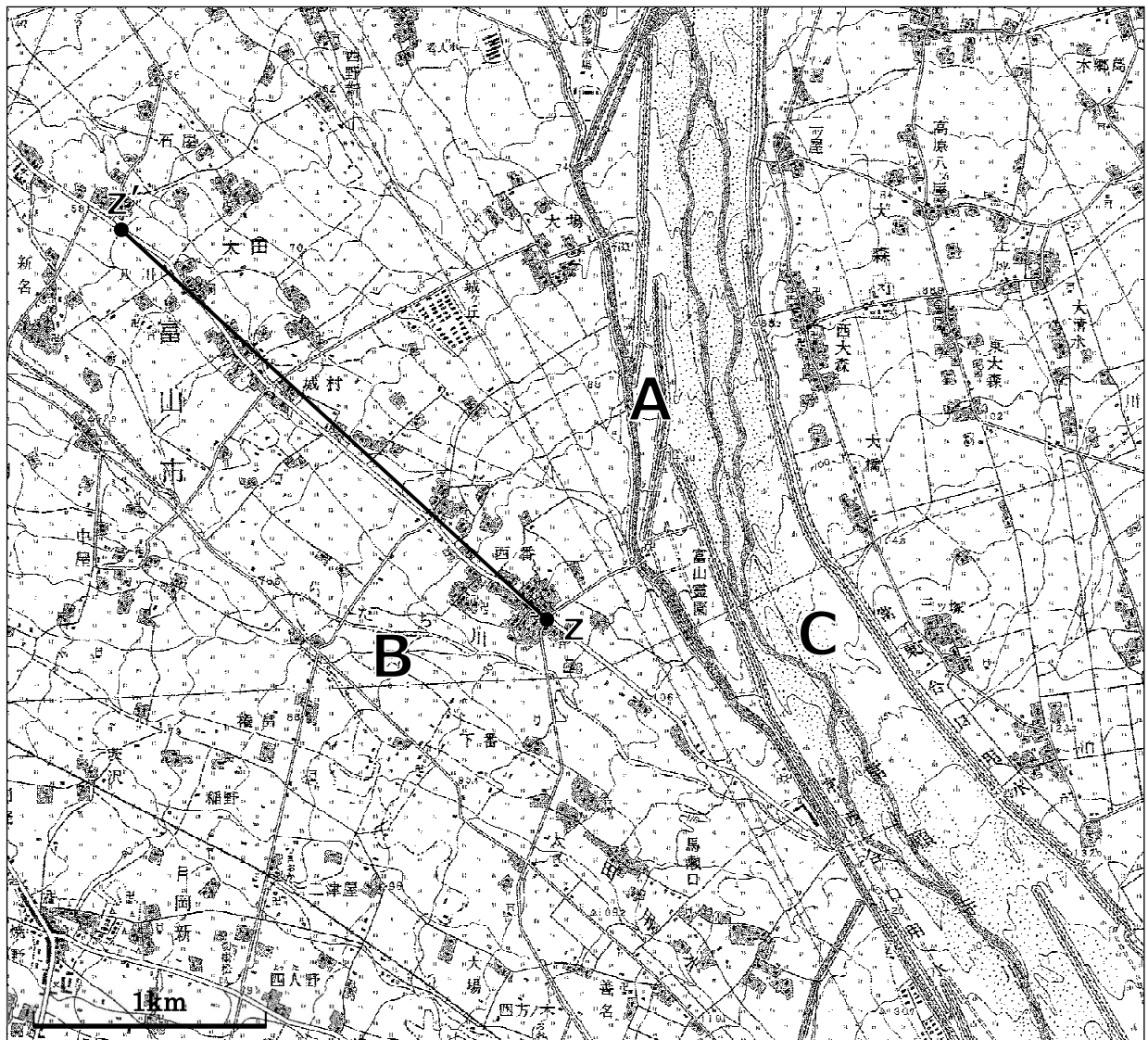
- (1) 西側の山地斜面には、いくつかの地すべり地形が認められる。
- (2) 鉄道 A のトンネル区間の坑口付近の地質は、未固結な砂礫層である。
- (3) 鉄道 B は、扇状地の末端を切土して、小河川をすべて橋梁で通過している。
- (4) 東側の河川には、霞堤が認められる。

問 19. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、下に示す地形図の説明として最も適切なものを選びなさい。



- (1) 沖合に波食棚が見られることから、沿岸流による漂砂の移動が多いことを示している。
- (2) 海岸沿いの浜堤の背後には細長い堤間湿地が存在し、そこが水田に利用されている。
- (3) 山地の隆起によって中小河川による下刻が進んでおり、河川からの土砂流出が極めて多いことを示している。
- (4) 複数段の海岸段丘面が発達し、山地の隆起と海岸侵食が活発な地域であることを示している。

問 20. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、下に示す地形図の説明として最も適切でないものを選びなさい。

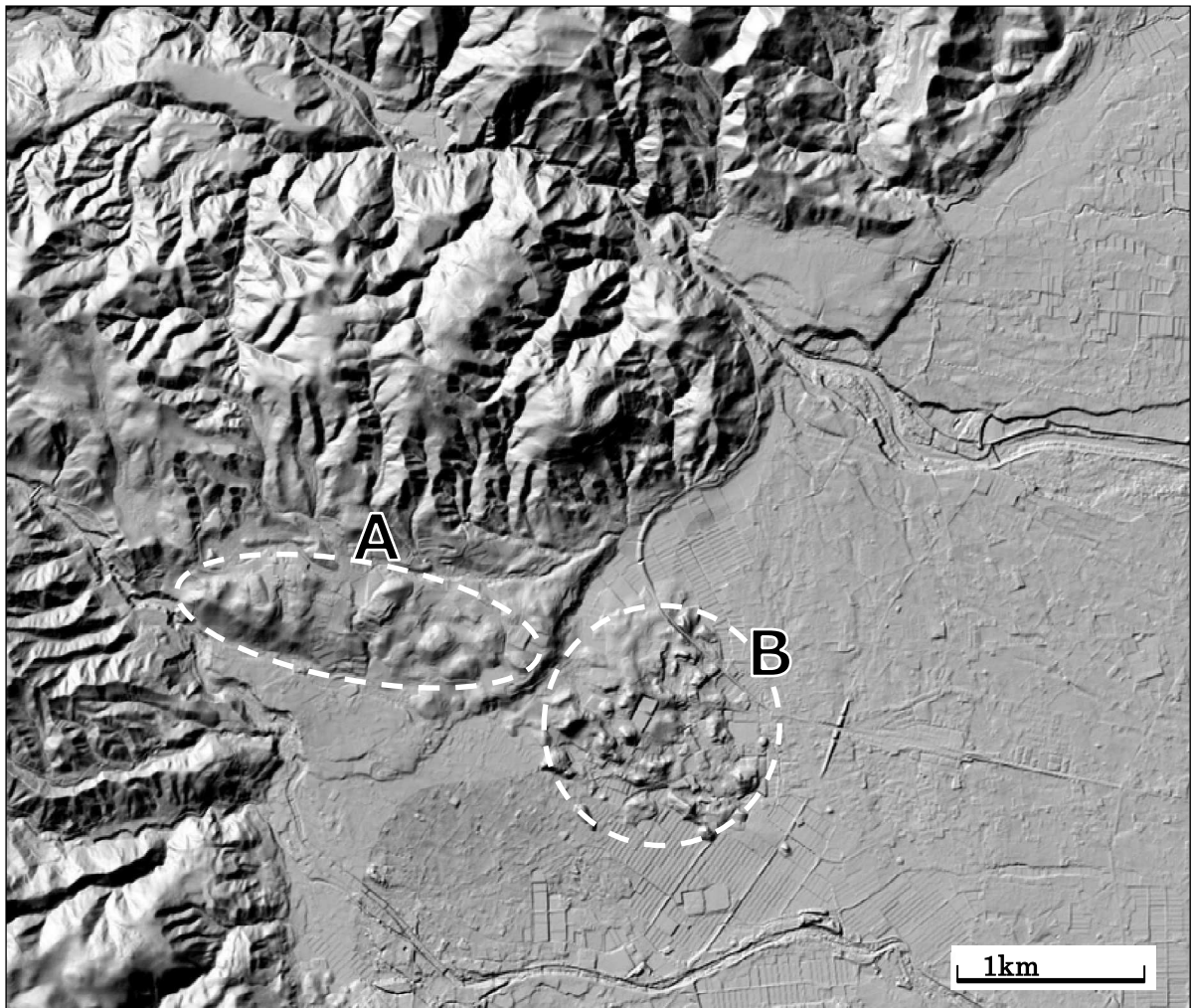


- (1) 地点 A 付近には、洪水対策の霞堤がある。
- (2) 図に直線で示した区間 (z-z') の勾配は、20‰以下である。
- (3) B の「いたち川」は、常願寺川の名残川とみられる。
- (4) 常願寺川の河床 C 付近は網状流となっており、侵食が進んでいる。

問 21. 次の a) ～d) は、下の陰影起伏図に示す楕円 A と楕円 B にみられる地形に関する記述である。

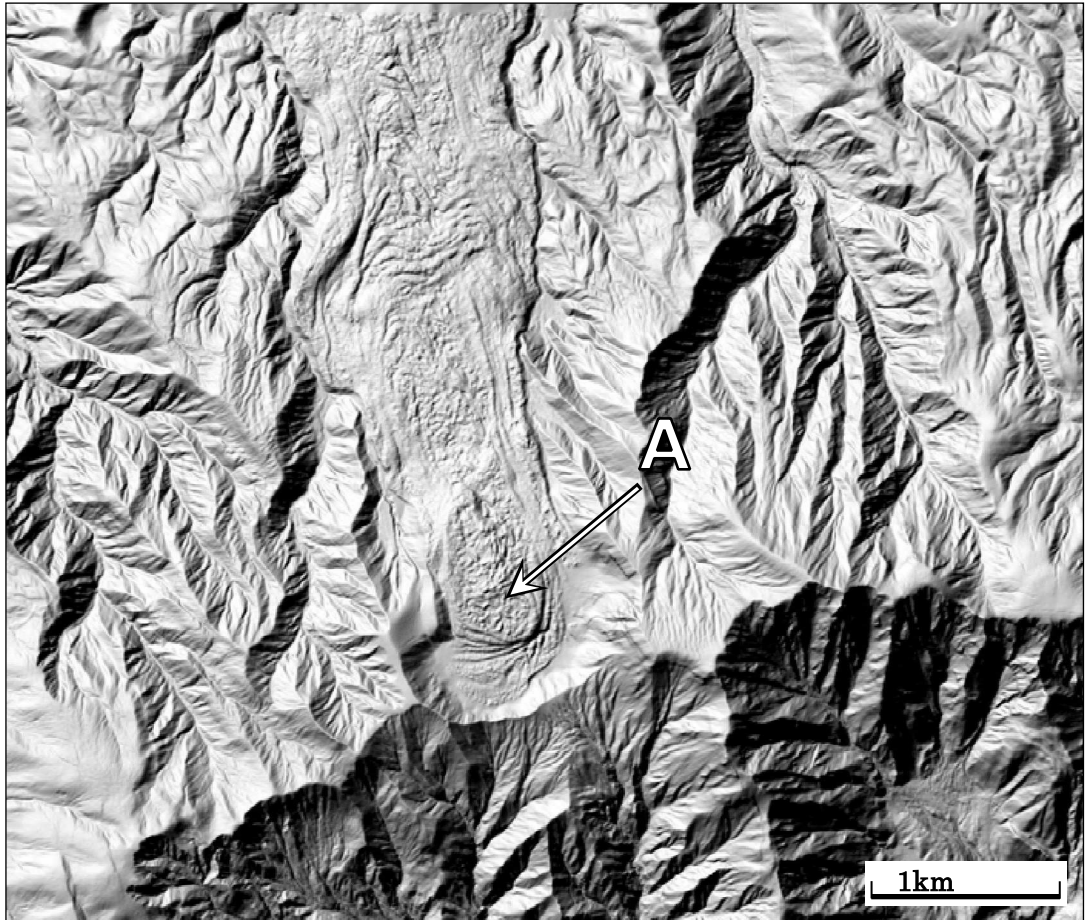
- a) 楕円 A は古墳群で、円 B は山体崩壊の流れ山である。
- b) 楕円 A と円 B は、ともに山体崩壊の流れ山である。
- c) 楕円 A と円 B の間にある落差は、段丘崖である。
- d) 楕円 A と円 B の間にある落差は、活断層で生じたものである。

選択肢 (1) ～ (4) の中から、これらの記述の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。



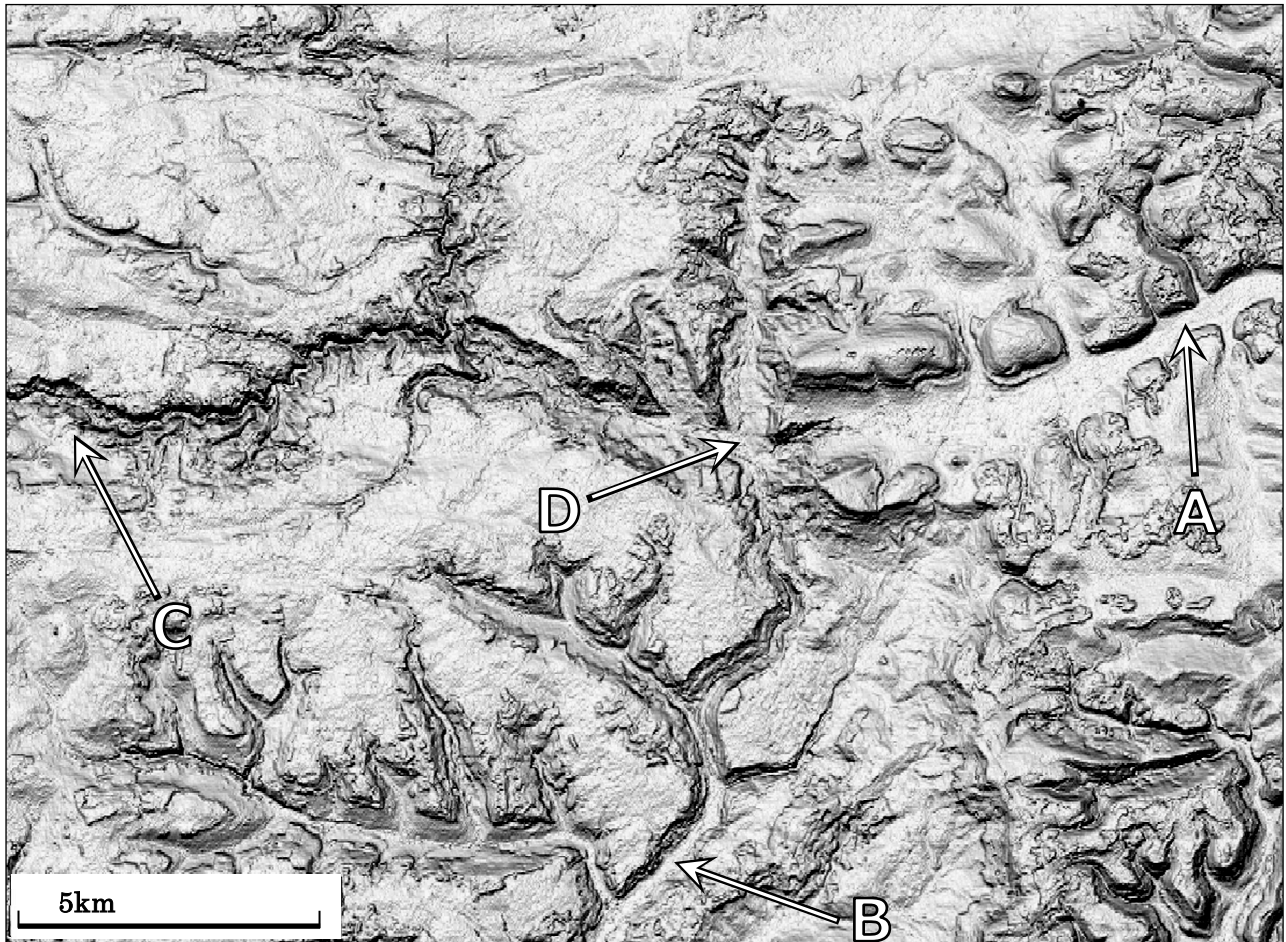
- (1) a と c
- (2) a と d
- (3) b と c
- (4) b と d

問 22. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、下の陰影起伏図に示す地点 A の成因として最も適切なものを選びなさい。



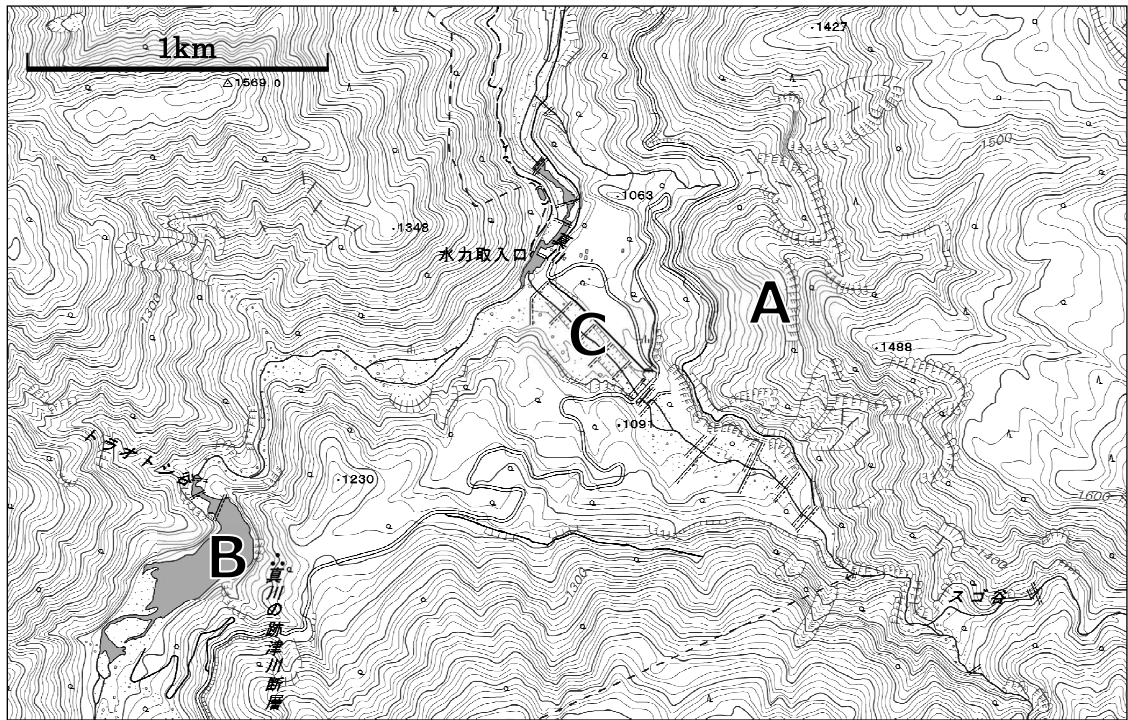
- (1) 崩壊地
- (2) 熔岩流
- (3) 地すべり
- (4) カール

問 23. 下の陰影起伏図は、東西方向の流路のドナウ川支流と南北方向の流路のライン川支流の源流域の地形を表している。選択肢 (1) ～ (4) の中から、地点 A～地点 D の説明として最も適切でないものを選びなさい。



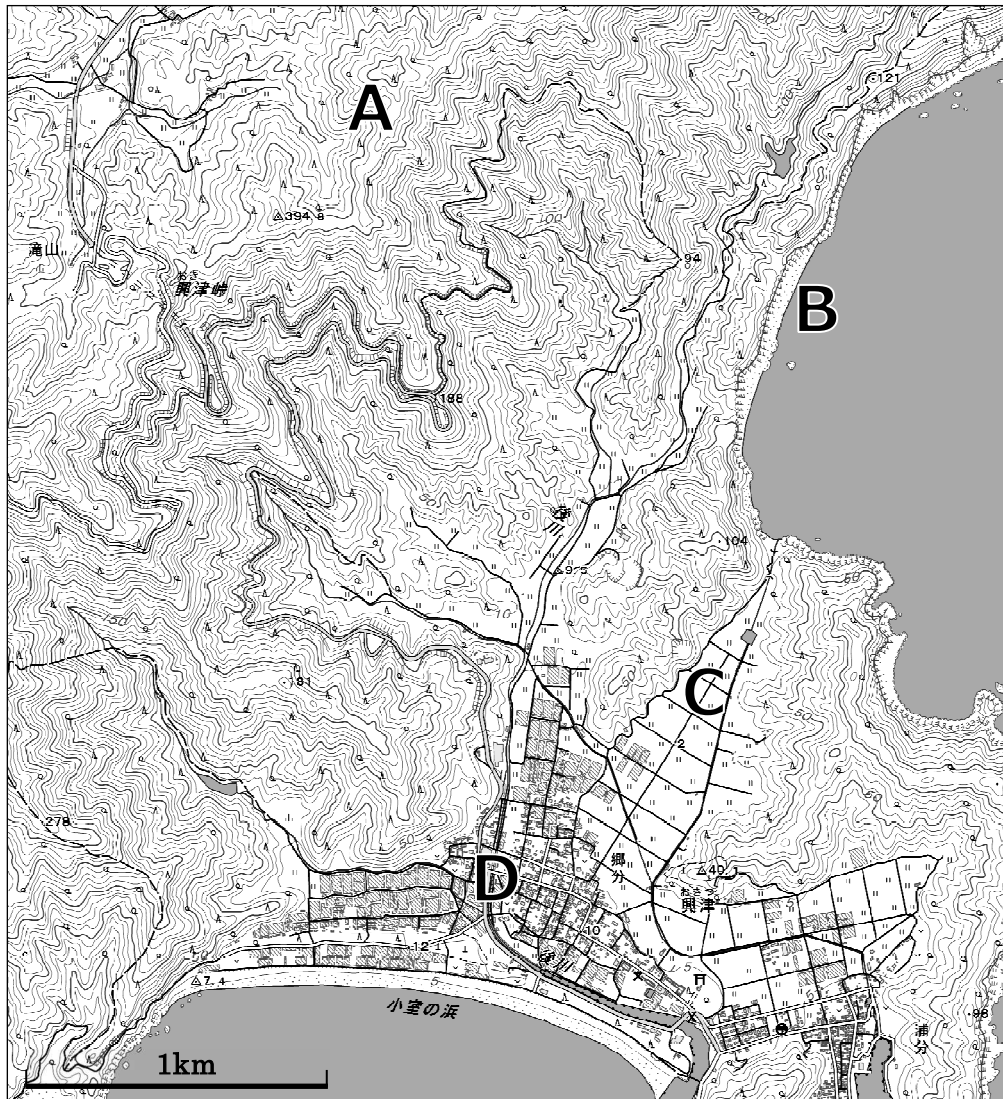
- (1) 地点 C を流れる河川は、過去には地点 A に向かって流れていたと推定される。
- (2) 地点 A, 地点 B, 地点 C の中で、河床の標高は地点 B が最も低い。
- (3) 地点 D の東側の谷は、風隙と呼ばれる。
- (4) 現在の河川の侵食速度は、ライン川の支流 B よりドナウ川の支流 A の方が早い。

問 24. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、下に示す地形図の説明として最も適切なものを選びなさい。



- (1) 地点 A には未固結層の崖が存在し、その直下の斜面には崩壊土砂が分布する。
- (2) 真川の左岸側には、数箇所の崩積土地すべりが分布する。
- (3) 湛水池 B は、モレーンで堰き止められた氷河湖とみられる。
- (4) 水力取入口付近の真川右岸の緩傾斜地 C は、土石流扇状地とみられる。

問 25. 選択肢 (1) ～ (4) の中から、下に示す地形図の説明として最も適切でないものを選びなさい。



- (1) 北東－南西方向に延びる山稜 A の南東側斜面は、北西側斜面より侵食作用が進んでいる。
- (2) B 付近一帯の海岸は侵食作用が顕著で、岩盤斜面の急崖が連続し、崩壊が発生している。
- (3) C 付近の地形は扇状地で、その堆積物の供給源は、海食によって消滅した C の北北東の海域にあった小山地である。
- (4) 後川 D の河口は、沿岸流により形成された砂州によって屈曲する。この地形を「河口偏倚」という。

《学科試験-3》

- 問 26. 断層面および断層破碎帯に沿って、**差別侵食のみで生じた直線的な侵食谷の名称**。
- 問 27. 堤防に挟まれた河道に砂礫が堆積し、**河床面が周辺地盤より高くなった河川の名称**。多くは、人為的に堤防の高さをあげることが関係している。
- 問 28. 寒冷地にみられる、**土中水分の凍結・融解作用により生じる地形の総称**。一般には、緩やかな起伏の地形を形成し、わが国では北海道や高山地帯で見られる。
- 問 29. 谷地形の出口が本流の堆積作用により閉塞され、**閉塞箇所の上流に形成される低地の名称**。内水氾濫が発生しやすく、災害の観点からは要注意の地形である。
- 問 30. 山地内を蛇行する河川のショートカットにより、**蛇行部の流路跡とショートカット部の新流路の間で孤立丘陵になった部分の名称**。

《学科試験-3》は、次を参考として、設問に示した説明文に対する用語を解答しなさい。

問＊. 扇状地、氾濫原、三角州に形成された微高地で、集落や畑として土地利用され、洪水に対して比較的安全であるが浸水することもある。

解答：自然堤防